

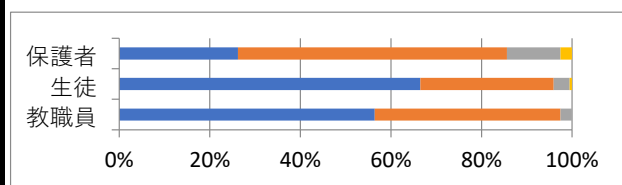
令和5年度 学校評価

■ そう思う
 ■ どちらかといえば、そう思う
 ■ どちらかといえば、そう思わない
 ■ そう思わない
 ■ わからない

①いのちを大切にす心の教育の充実といじめや不登校への細やかな対応

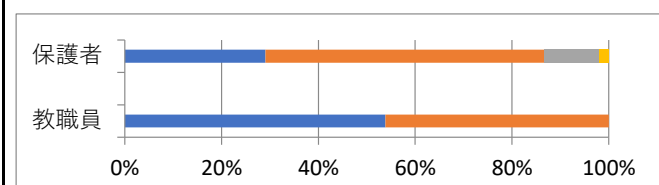
1 一人一人の児童生徒の尊重

学校は、一人一人の子どもを大切にす指導や対応ができていますか。



2 道徳・心の教育の充実

学校は、豊かな人間性を育む心の充実に努めていると思いますか。(礼儀、生命尊重、思いやりなど)

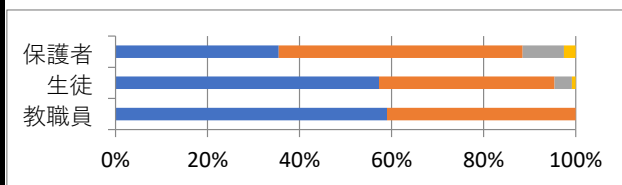


考察【学校より】どちらの項目も児童、教職員の数値は昨年度と同じく肯定的意見が高く推移している。保護者の意見として肯定的意見が昨年度と比較して1%減少している。毎月のスマイルアンケートや「ちょボラ」の取組をさらに充実させ、活動の意味や内容を全保護者に周知できるよう努めたい。

②確かな学力の向上と社会の変化に対応した教育の推進

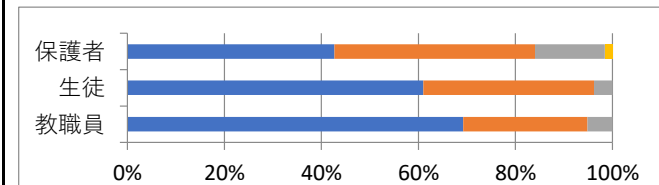
3 授業力向上

先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。



4 タブレット端末活用

子どもは、タブレット端末を活用して学習していると思いますか。

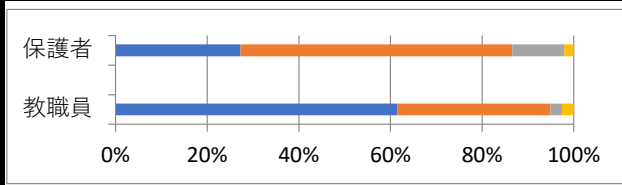


考察【学校より】わかる授業、楽しい授業について、児童の肯定的な回答が昨年度より1%増加した。一方、保護者の肯定的な意見が6%減少している。タブレット端末の活用についても保護者の肯定的な意見が減少している。子どもが自ら学び取る授業の発信についてさらに力を入れる必要がある。

③教員が子どもと向き合うための体制の整備

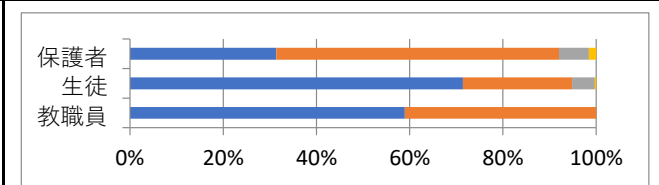
5 学校の支援体制

学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。



6 共生社会を担う人材の育成

学校が行っている「交流及び共同学習」等は、相互理解につながっていると思いますか。



考察【学校より】学校の支援体制については、昨年度と変化は見られなかった。共生社会を担う人材の育成について、今年度支援学校との本格的な交流が復活したことで、保護者と教職員の肯定的な意見が増加している。交流教育のさらなる充実、学校内での支援体制の確立に向けて、来年度もさらに継続していきたい。

④ 学習に集中できる教育環境づくりと安全対策の推進	
7 安全と事故防止	8 家庭や地域との連携協力
学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。	学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。
<p>考察【学校より】「安全と事故防止」では、令和4年度と比較して、保護者の肯定的な意見が2%、児童が1%減少した。「家庭や地域との協力連携」では、保護者の肯定的な意見が1%増加した。コロナ禍の影響でできなかった連携が少しずつ戻ってきたことが要因と考えられる。</p>	

⑤ 本校の教育	
9 あいさつ	10 主体的な学び
学校は、あいさつができる児童の育成に努めていると思いますか。	学校は、主体的に考え学ぶ児童の育成に努めていると思いますか。
<p>考察【学校より】「あいさつ」は、児童の肯定的意見が3%減少したが、保護者は1%増加した。「体力向上」は、保護者の肯定的意見が3%増加した。「主体的な学び」は、保護者の肯定的意見が1%減少したが、児童は2%増加した。児童の学びの実感が保護者にも伝わるよう、今後、発信に力を入れていきたい。</p>	

来年度の具体的な取組について
<p>今年度の傾向として、行事等における実際の交流が復活してきたことで、学びの実感としての伸びが確実に見られた。また、主体的な学びにおける児童の意識が増加したことは「学び取る」教育を目指してきた本校教育の一つの成果と考える。一方、学校の取組や考えが児童の姿を通して保護者に伝えきれなかった部分も出てきた。中でもタブレット端末を活用した学習については、授業参観等で活用の状況を保護者に見ていただき、児童が主体的に学ぶ姿を示していくことが大切だと考える。</p>
学校関係者評価
<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から、子どもたちに目線を合わせ、寄り添い、また保護者とも誠実に様々な思いや情報を共有していただいていることに感謝したい。 ・地域との連携を校長先生以下熱心にされている。頭が下がる。 ・アンケートにおける「どちらかというとそう思わない」「そう思わない」意見の具体をつかむ必要がある。 ・学校安心メール等を活用しながら、学校の取組をどんどん発信してほしい。